（別記）

令和５年度岩出市農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

１　地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

岩出市は、紀の川下流域の沖積平野に発達し、和歌山市及び大阪府と隣接しており、都市地域として立地条件が高い位置にある。そのため兼業化が進み、経営の発展を図るため、一部の農家で施設園芸等の導入が進んできていた。また、兼業農家が多いことで地域の作物の割合は水稲が多く占める状況となっている。水稲については、令和４年度の耕地面積は４９８ha、うち水田面積は４５７ha、水稲作付面積は３２８ha（令和４年度耕地面積調査、農林水産省データ）である。

近年、宅地化が進み住宅に農地が囲まれる地域も多くみられ見られ、農業自体が行いづらい環境となっている。また、それに加えて農業者の高齢化が進み、労働力不足のため生産数量の低下が生じている。

２　高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

高収益作物である野菜、花き、果樹等は、本地域の農業において占めるウエイトが高く産出額も大きい。そのうち、とうがらし（ねごろ大唐に限る。）は、地域の特産品として位置づけられており、積極的に転換を図る。

３　畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

生産者の意向に基づき、必要に応じて、畑地や樹園地化を図る。

また、水稲を組み入れられない作付体系が数年以上定着し、畑作物のみを生産し続けている水田はないか現地確認により確認をおこなう。

なお、担い手への耕作地の集積（作業の効率化）や雑草・連作障害の抑制等を目的に、水稲と転換作物の作付を実施している農地については、計画的なローテーションを行うよう産地の状況を踏まえて検討していく。

４　作物ごとの取組方針等

（１）主食用米

主食用米は、生産数量参考値に沿った作付面積を確保し、需要に応じた生産に取り組むとともに、高品質安定生産を推進する。

（２）備蓄米

実需を踏まえた生産の取組を支援する。

（３）非主食用米

ア　飼料用米

実需を踏まえた生産の取組を支援する。

イ　米粉用米

実需を踏まえた生産の取組を支援する。

ウ　新市場開拓用米

実需を踏まえた生産の取組を支援する。

エ　WCS 用稲

実需を踏まえた生産の取組を支援する。

オ　加工用米

実需を踏まえた生産の取組を支援する。

（４）麦、大豆、飼料作物

実需を踏まえた生産の取組を支援する。

（５）そば、なたね

実需を踏まえた生産の取組を支援する。

（６）地力増進作物

次年度の有機栽培や高収益作物等への転換に向けた土づくりの取組を支援する。

（７）高収益作物

野菜、花き、果樹等は、本地域の農業において占めるウエイトが高く産出額も大きい。とうがらし（ねごろ大唐に限る。）は、地域の特産品として位置づけた上で振興を図ることが重要である。

５　作物ごとの作付予定面積等　～　８　産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

別紙

５ 作物ごとの作付予定面積等

（単位:ha）

作物等		前年度作付面積等	うち二毛作	当年度の作付予定面積等	うち二毛作	令和５年度の作付目標面積等	うち二毛作
主食用米		328		325		325	
備蓄米							
飼料用米		1		1		1	
米粉用米							
新市場開拓用米							
WCS用稲							
加工用米							
麦							
大豆							
飼料作物							
	・子実用とうもろこし						
そば							
なたね							
地力増進作物							
高収益作物		24		24		22	
	・野菜	22		22		20	
	・花き・花木	2		2		2	
	・果樹						
	・その他の高収益作物						
その他							
畑地化		0		0		0	

６ 課題解決に向けた取組及び目標

整理番号	対象作物	使途名	目標		
				前年度（実績）	目標値
1	地域振興作物（とうがらし(ねごろ大唐に限る。))	地域振興作物の作付支援	交付面積	（令和4年度）12a	（令和5年度）30a
2	地域振興作物（とうがらし(ねごろ大唐に限る。))	地域振興作物の作付拡大支援	拡大面積	（令和4年度）3a	（令和5年度）10a

※　必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。
※　目標期間は３年以内としてください。

7　産地交付金の活用方法の概要

都道府県名：和歌山県

協議会名：岩出市農業再生協議会

整理番号	使途 ※1	作期等 ※2	単価 （円/10a）	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	地域振興作物の作付支援	1	30,000	とうがらし（ねごろ大唐に限る。）	作付面積に応じて支援
2	地域振興作物の作付拡大支援	1	6,000	とうがらし（ねごろ大唐に限る。）	作付を拡大した面積へ加算助成

※1　二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「○○○（二毛作）」、耕畜連携の場合は使途の名称に「○○○（耕畜連携）」と記入してください。
　　ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。
　　なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「○○○（耕畜連携・二毛作）」と記入してください。
※2　「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「１」、二毛作を対象とする使途は「２」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「３」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「４」と記入してください。
※3　産地交付金の活用方法の明細（個票）の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。
※4　産地交付金の活用方法の明細（個票）の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。